



## R コマンド

---

この章では、R で始まる Cisco NX-OS インターフェイス コマンドについて説明します。

# rate-limit cpu direction

インターフェイスの Packet Per Second (PPS) のレート制限を設定するには、**rate-limit cpu direction** コマンドを使用します。デフォルト値に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**rate-limit cpu direction {both | input | output} pps pps\_value action log**

**no rate-limit cpu direction {both | input | output} pps pps\_value action log**

## 構文の説明

<b>both</b>	入力および出力の最大パケット レートを設定します。
<b>input</b>	最大入力パケット レートを設定します。
<b>output</b>	最大出力パケット レートを設定します。
<b>pps pps_value</b>	パケット/秒を指定します。有効な範囲は 0 ~ 100,000 です。
<b>action</b>	アクションを記録することを指定します。
<b>log</b>	指定されたレート制限値以上の PPS 値になると、syslog メッセージを書き込みます。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

## 例

次に、インターフェイスの最大入力パケット レートを 3 に設定し、syslog メッセージのロギングをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/5
switch(config-if)# rate-limit cpu direction input pps 3 action log
switch(config-if)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show running-config</b>	実行システム コンフィギュレーション情報を表示します。
<b>remote ip address</b>	リモート マシンの IPv4 アドレスを設定します。
<b>remote port</b>	リモート マシンの TCP ポートを設定します。
<b>remote vrf</b>	リモート マシンの仮想ルーティングおよび転送 (VRF) のインスタンスを設定します。
<b>show svx connections</b>	SVS 接続の情報を表示します。
<b>svx connection</b>	SVS 接続をイネーブルにします。